

サンコウチョウ

スズメ目カササギヒタキ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

Terpsiphone atrocaudata (Eyton)

国カテゴリー なし

選定理由

県内での生息数は少なくないが、近年全国的に減少している。

形態

全長雄45cm、雌18cm。雄の尾羽は著しく長い。頭部から胸にかけては紫光沢のある黒色。背、翼、尾は褐色。下面は白い。雄の嘴と目の周囲はコバルトブルー、雌では淡い青。

国内分布

夏鳥として本州以南に渡来する。平地から低山帯の広葉樹林やスギ、ヒノキの植林地を好む。近年全国的に減少しているが、県内では少なくない。

県内分布

県内の低山から山地帯の森林に生息する。20年ほど前までは各地のスギ、ヒノキの植林地に多数見られたが、現在は減少している。

生態

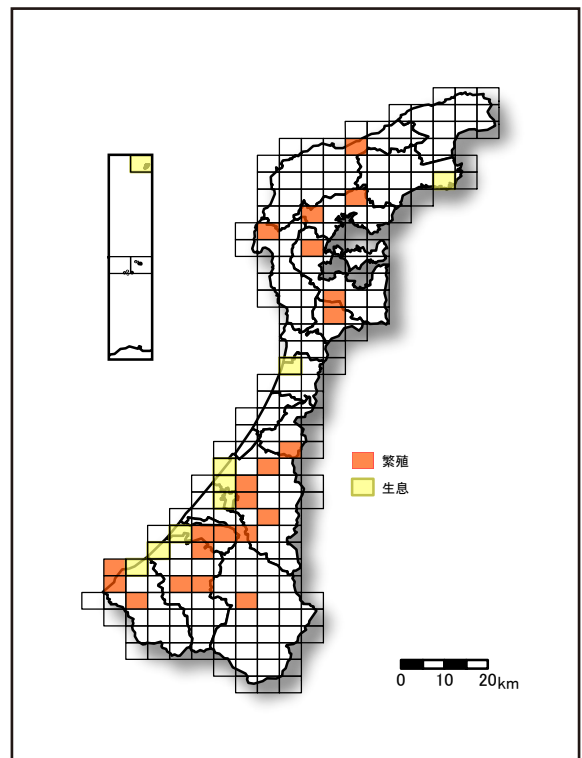
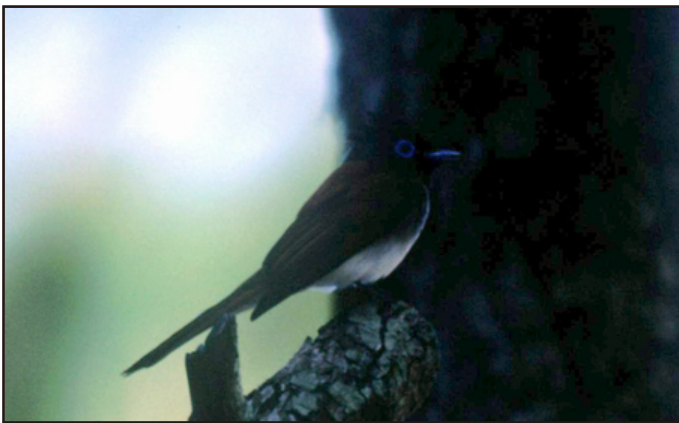
主食は昆虫。繁殖期は6～7月。地上1.5～5mの樹上にコップ状の巣を作り、3～5卵を産む。抱卵期間は約2週間。

生息地の条件

県内では暗いスギ、ヒノキの植林地に生息しているが、詳細はよくわかっていない。

生存の危機

越冬地である東南アジア諸国の森林伐採を指摘する研究もあるが、詳細はよくわかっていない。(A)



県内の分布